

100
租券第614号 山元実施用

この券を何枚か持てては
作校す

契約書

三井鉱山株式会社を甲とし、共同石炭販売株式会社を乙とし、乙が甲所有山野鉱区の一部に租賦権を設定することについて次の通り契約を締結する。

第1条 甲は乙が甲所有の福岡県探鉱権登録第1577号鉱区の一部別図図示の

(1)A区域面積4337アールに賦存する炭層のうち杉谷五尺層および間の三尺層

(2)B区域面積3257アールに賦存する炭層のうち福岡五尺層、下二尺層

(3)C区域面積2475アールに賦存する炭層のうちドマ八尺層および海軍八尺層に租賦権を設定することを承諾する。

2前項の表示面積については所管官庁の修正命令によりこれに多少の異動を生じても甲乙とも異動のないものとする。

第2条 乙は前条租賦権設定承諾区域の内、別図図示の区域の杉谷五尺層、間の三尺層、同区域の福岡五尺層、同区域の下二尺層、ドマ八尺層、海軍八尺層および同区域の全炭層に対しては探鉱責任としてこれを探採しをいものとする。

第3条 第1条の租賦権存続期間は、設定登録の日から5年とする。
2前項の期間は、甲乙協議の上これを延長することができる。

第4条 第1条の租賦料は金44670千円とし、乙は甲に^{前条の区域}の^{採掘}と同時金21470千円を支払い^{採掘区域}金43000千円を^{採掘開始の翌}月より毎月末均等額を支払い、10ヶ月をもつて完済するものとする。

第5条 乙は租賦区の探採については、予め甲に商業案又は事業計画を提示し、その承諾を得なければならない。これを変更しようとするときもまた同様とする。

第6条 甲は乙の租賦区探採について、随時その探採箇所に入入り当該その借債調査なし、又は参考資料の提出を求められることがある。

2前項の場合においては、乙はこれを承諾して得る限りの便宜を考ふるものとする。

第7条 乙は坑内水の流入を防止するため甲の指示する箇所乙の費用で(ダム)を構築するものとする。

2前項の(ダム)構築について乙は一切甲の設計および監督に受らうものとする。

第8条 乙は租賦区の探採に因り、甲の事務に支障を来さないよう或甲の設備を譲るものとする。

2高一甲の事務に支障を及ぼした場合は、乙は損害賠償の責に任ずるものとする。



第7条 租飲区の採掘に著く飲害については、乙が全責任を負うものとする。

又乙は租飲区の採掘完了后又はこの契約解除后といえども前項の責任は免れ得ない。

第10条 乙は前条の飲害賠償の保証金として毎月20万円を金134,200千円に達するまで、甲に積立てなければならぬ。
(此の積立は毎月)
但し臨時石炭飲害復旧法廃止の場合は、毎月20万円を金27,155千円に達するまで甲に積立てなければならぬ。
(此の積立は毎月)

又物価の著しい変動により前項の金額を改訂する必要が生じた場合は甲乙改めて協議するものとする。

11条 前項の保証金は租飲区の採掘に著く飲害の賠償が完全に終了したときにこれを精算するものとする。

第11条 乙はその産出にかゝる有償物炭(45000cf)保証103700屯を甲に完済するものとする。

②乙は前項の有償炭以外に採石を甲に完済するものとし、その数量価格については前条甲、乙協議するものとする。

3完済条件の細目については、甲の若狭支店長と別途協定する。

第12条 前条第3項に規定する場合を除き、この契約に基づく細目事項につき必要ある場合は、甲の山野炭業所長と乙との間において別途協定するものとする。

第13条 乙は租飲区に關して発生する地元関係問題については、全責任をもつてその解決にあたるものとする。

第14条 乙はこの契約に基づく権利義務を甲の承認なしに、第三者に譲渡し若しくはその他権利の對象としてはならぬ。

第15条 乙が租飲料の支払、飲害賠償保証金の積立その他この契約の規定に違反したときは、甲はこの契約を解除することができる。

2甲は前項の規定により契約を解除した場合においても、乙に損害賠償を要求することができる。

第16条 本租飲料設定のための申請書に添附する契約書については別途作成するものとする。

第17条 この契約に規定する事項又は規定のない事項に異議を生じたときは、甲、乙互に協議をもつて協議しその解決を旨るものとする。

上記契約の証として本書2通を作成し、甲、乙各1通を保有する。
昭和30年3月25日

東京都中央区日本橋區町2丁目1番地/
三井炭山株式会社
印 社長 栗木 幹

東京都中央区銀座7丁目5番地 /

乙 共同石炭鉱業株式会社

社長 入 交 太 郎

了 解 事 項 案

- 1 三井鉱山株式会社と共同石炭鉱業株式会社との間に締結した昭和30年5月25日付契約書（以下契約書と云う）第3条後段中に規定する組款料金が3,000千円の支払については共同石炭鉱業株式会社は契約締結と同時に金4,300千円宛の各支払期日の約定手形10割を提出するものとする。
- 2 契約書前条に規定する紅利賠償保証金に対しては、交付債権（手形口）相當の利率を付するものとする。

昭和30年5月25日

三井鉱山株式会社
社長 原 水 幹

共同石炭鉱業株式会社
社長 入 交 太 郎



久恒坑
日録坑

司大境層三六條園係書額

昭和 年 月 日

編輯部 印刷部 大田町 全館 電話六七零 (電報七零)
久保 藤 正 株 次 會 社
港 生 炭 坑

夏取誌

一 水 話 吉 氏 志

右の二行 夏取中文字

昭和十一年八月二日

編輯部 大田町 全館 電話六七零

夏取誌



白石先生

以石文在 敬

承 踏 書

今般久飯鐵業株式會社ヨリ出願セル鐵業法第三十六條ニ依ル
相違増區願福岡鐵山監督局受付番號額額十年第壹〇七號圖書
五壹之貳〇ニ對シテ貴社及久飯鐵業株式會社間ニ於テ約定
ノ上久飯鐵業株式會社ヨリ該區出願中ノ區域ノ大體炭層（海
軍八尺層ヲ除ク以下ノ炭層）ヲ貴社ニ於テ相違ノ爲メ増區出
願相成ル事ヲ承諾候也

昭和 年 月 日

福岡縣若松市本町三丁目二六九番地ノ一ノ内一

共 同 石 炭 株 式 會 社
代 表 取 締 役 入 文 多 藏

日本製鐵株式會社殿



承 簿 書

今控久恒備業株式會社ヨリ出願セル備業法第三十六條ニ依ル類
地増區照額同領山監督局受付番號福嶺十年第壹〇七號圖番五壹
之貳〇ニ對シテ貴社及久恒備業株式會社間ニ於テ和協定ノ上久
恒備業株式會社ヨリ該區出願申ノ區域ノ大體巖層（海軍八尺層
ヲ除ク以下ノ巖層）ヲ貴社ニ於テ相讓ノタメ増區出願相成ル事
ヲ承認セ也

昭和 年 月 日

福嶺縣若松市本町參丁目二六九番地ノ一

共同石炭株式會社

取締役社長 入 交 太 藏

日本製鐵株式會社 殿

十一年八月十七日 久恒備業株式會社

東京市本町
共同石炭株式會社
取締役社長
入交太藏
謹啟



控

承諾書

今般弊社ト久垣製藥株式會社トノ間ニ於テ締結セシ製藥法第參拾六條ニ依ル増區願（福岡縣山笠管局受付願據覽〇年第壹〇七號圖面番號五壹ノ貳〇）ノ承諾書ノ區域ニツキ貴社同ノ相互ニ於テ製協定ノ上讓渡、讓受等ノ必要相生シ得際ハ久垣製藥株式會社ノ請求ニ依リ同社トノ間ニ締結セシ製藥法第參拾六條ニ依ル増區願同様ノ承諾書ヲ再發行スル事ハ何等異議無之直チニ承諾仕ル可候爲後日右企業並出申渡

昭和拾壹年壹月貳拾壹日

以 上

日本製鐵株式會社
久垣製藥株式會社
編 中 共同石炭株式會社

昭和十一年一月三十日私印此
岡野茂 個人



昭和十一年一月三十日
共同石炭株式會社
岡野茂 個人
私印

昭和十二年十一月二十六日

又恒續業株式會社

昭和十二年十一月二十六日

承 諾 書

別紙添付ノ鐵區境界無阻離承諾書ノ内海軍八尺層以上ノ炭層ハ
貴社ノ所有ニシテ何時ニテモ自由ニ掘鑿許ニテ探掘セラルト
モ異議無之唐日ノ為承諾書一札送込候也

昭和十二年十一月二十六日

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

共同石炭株式會社

社長 人交太藏殿

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長 久恒

貞

貞

職

久恒續業株式會社

社長

續區境界無距離承諾書

當會止所有ニ係ル福岡縣採炭第九號第七八號續區境界線ノ内續杭第七號全第八號間全第八號全第九號間全第九號全第十號間ニ於テ別紙添付圖ニ赤色ヲ以テ示ス面積貳千六百坪ノ區域ヲ福岡縣採炭第九六號續區ヨリ増延出願ヲナス事及當會止所有ノ前記福岡縣採炭第九號第七八號續區境界線ト福岡縣採炭第九六號續區境界線ノ内別紙添付圖ニ示ス赤色區域ハ無距離ナルコトヲ承諾致候也

昭和十三年十二月二十二日

若松市海岸通り二丁目二一〇

福岡縣採炭第九號第七八號續業權者

共同石炭株式會社

右取締役 入 交 太 藏

福岡縣採炭第九六號續業權者

久賀續業株式會社

右取締役 久 賀 貞 雄 藏



承 諾 書

今般久恒産業株式会社ニ屬スル福岡縣探銅權登録第壹〇四八號領區ヨリ當
社が恒産業ヲ有スル福岡縣探銅權登録第壹貳七八號領區中出前埜城內大俣
層（見石、尺無、小石三尺、常磐、五尺）ニ屬進スル為該區出願スル事ヲ
承諾ス

昭和拾五年參月拾日

福岡縣若松市馬場通り二丁目

恒産業者 共同石炭株式会社

代表者 取締役社長 人 交 太 藏

久恒産業株式会社
取締役社長 久 恒 貞 雄 殿





大田友一

大田友一



昭和十一年十月十二日

二瀬鏡業所

入江敏孝



明石友助様

侍史

并啓 秋冷々復愈々御佳適。改奉大賀候
 扱昨御不在にて井上様へ御電請致候通り十一年上度
 請負賃本迄(上南中)之處ニ是錢値上り一應五圓六拾錢
 也。其決算の旨御承知す通知有之候。付貴本社には
 幣水取上りし式通初め。答へは存。假(共取)散す御
 通知當り得貴意候次第御座候
 後、本年四月以降ノニ別保留の金額と前記値上債格
 三精算し、金額を請取君御現出被下度其の精算

昭和十一年十月十九日

福岡縣志賀郡大庄町小宮(電話六七番) 電報七廿
久保 鐵 業 株 式 會 社

澤 生 炭 坑

の 名 長 殿

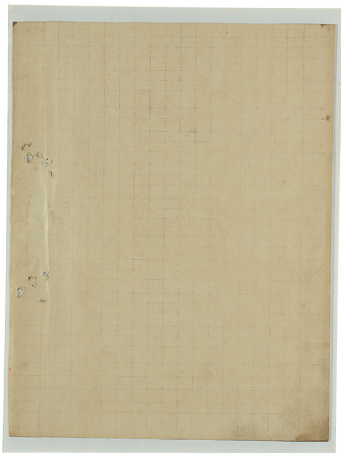
お給え初古御賀御之有様之御事

今春見作外御事不支障之御事御事

小山長余之御事御事御事御事

澤 生 炭 坑

昭和十一年十月十九日



竹筒以下部三井已城
増已多成也已成望
書

委 任 狀

福岡縣高橋郡大津町大字半段一七五〇番地

朝 石 友 助

右ノ者ヲ以テ拙者ノ代筆人ト定メ左ノ權限ノ行爲ヲ委任ス

一 福岡縣深瀬鎮登祿郡壹玖七八號

福岡縣高橋郡大津町、山田町、稻築町地内

石炭採掘權區面積 拾九萬六千壹百九拾七坪

福岡縣高橋郡稻築町大字才田、平

面積 四萬五百坪

合 計 面積 貳拾參萬六千六百九拾七坪

右ノ通り福岡縣深瀬鎮登祿郡壹玖七八號石炭採掘權區へ採掘法第

三十六條ニ依ル石炭採掘權區増幅圖ヲ編シ許可決定通知書受領シ

所ル處並許可決定受領後ハ登録費ヲ納付シ且ノ登録所並ク受領シ

所ル處ノ一切ノ行爲

石代筆委任ノ意思ヲ表示ス

昭和廿三年七月三日

東京部中央炭礦町並丁日拾壹番地八

副業課長 共同石炭礦業株式會社

右代表取締役 人 交 太 榮

明治
大正
昭和
元
年
月
日
入



山野第五八五號

昭和廿三年六月七日

三井礦山株式會社山野礦業所

所長 川上 龜 郎

共同石灰炭礦株式會社

日吉礦業所

所長 宇佐見 敏 一 殿

貴社より送付の御用金に付、
かねて御用金の貸付額より御用金への融通可能の件に付、
別紙の通り御社長
に特別管理人の承諾書をお送り致し、
ます御用金の上可取れ計ひ下さ
り、
引て石目地留取付時に登録済取付場に
貼付案を御送付下さいますやう
お願い致
します

承 諾 書

共同石灰炭礦株式會社所有福岡縣深瀬郡登祿町壹貳七八號礦區より三井礦山株式會社所有福岡縣深瀬郡登祿町壹貳壹壹號礦區の一部別紙圖示の區域面積五九五〇〇平方尺に賦存する炭層中薄生八尺上層及び本層に對し礦業法第三十六條の規定に基く掘進増産の出願を差し二重礦區を設定する事を承諾します

昭和貳拾參年五月貳拾八日

東京都中央區日本橋區町貳丁目壹壹號壹壹

三井礦山株式會社

社長 山 川 貞 一

共同石灰炭礦株式會社

取締役社長 入 交 太 藏 殿

右の掘進増産出願を承諾します

昭和貳拾參年五月貳拾日

三井礦山株式會社

特別代理人 佐藤喜一郎

代理人 岡 本 信次郎

特別代理人 林實村

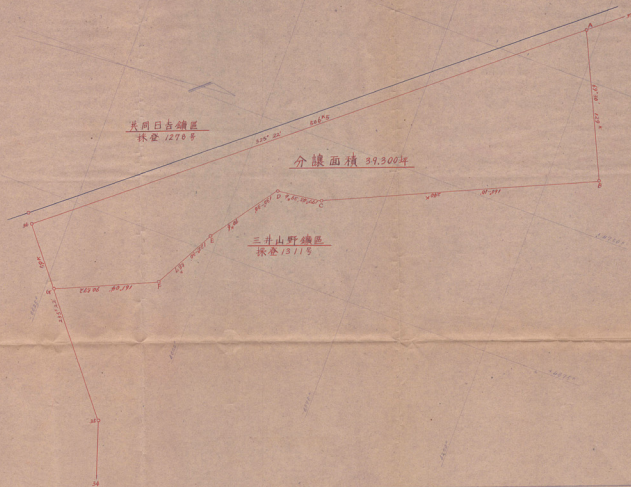
代理人 游 水 直作

特別代理人 石 田 健 助

特別代理人 山 本 勇 助

三井山野鑛業所

日吉炭坑鑛區分讓區域圖 縮尺三千分之一





承 諾 書

貴社名義ノ福岡縣糸島郡大隈町、山田町、須栗町元内、福岡縣探検部登録第七八號石炭礦
區ヨリ採出名義福岡縣糸島郡須栗町、庄内村、全縣田川郡精製倉村全内福岡縣探検部登録第七
八號石炭礦區内ノ採出區面示區域此面積壹萬壹千坪ノ内ニ於テ上面八尺壹、海軍八尺壹ノ
一區壹ニ付今圖案法第三十六條ニ依リ掘進スル為増進出頭ヲ為ストテ承諾致候也

昭和十八年九月廿日

東京郡日本橋區本町四丁目辰野地家

福岡縣探検部登録第七八號

福岡縣探検部 三井礦山株式會社

取締役會長 川 島 三 郎

福岡縣糸島郡本町四丁目辰野○六番地

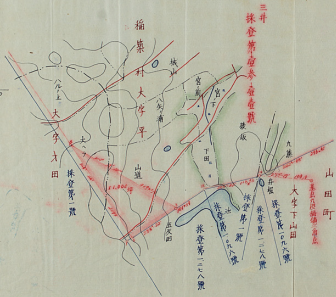
福岡縣探検部登録第七八號

福岡縣探検部 共済石炭礦株式會社 御中

本承諾書を訂行したる主旨は本承諾書の區域（上面八尺壹、海軍八尺壹）は本掘進増進（
露土八尺上層及び本層）出頭手続上の間接にて一種形式上取換したる露土の權利（土
面八尺壹、海軍八尺壹）の存続を明確に表明する為でありませす



1
5,000



- 凡例
- 山
 - ∪ 山
 - ∪ 河
 - ∪ 道
 - ∪ 小路
 - ∪ 大字界
 - ∪ 町界
 - ∪ 採金境界
 - ∪ 隣區界



登録税納付書

一金六千圓也

福鏡二三年一〇二勝出願

福岡縣嘉穂郡稻葉町山田町大隈町地内

福岡縣採掘権登録第貳七七八勝増區願

右出願に關し別紙を通り許可決定の旨通知がありま
たうて右通知書(圖面添付)を相添へ登録税
納付致しませ

昭和二十三年七月十四日

東京郡中津尾港町虎丁目拾壹番地八

出願人 共同石炭業株式會社

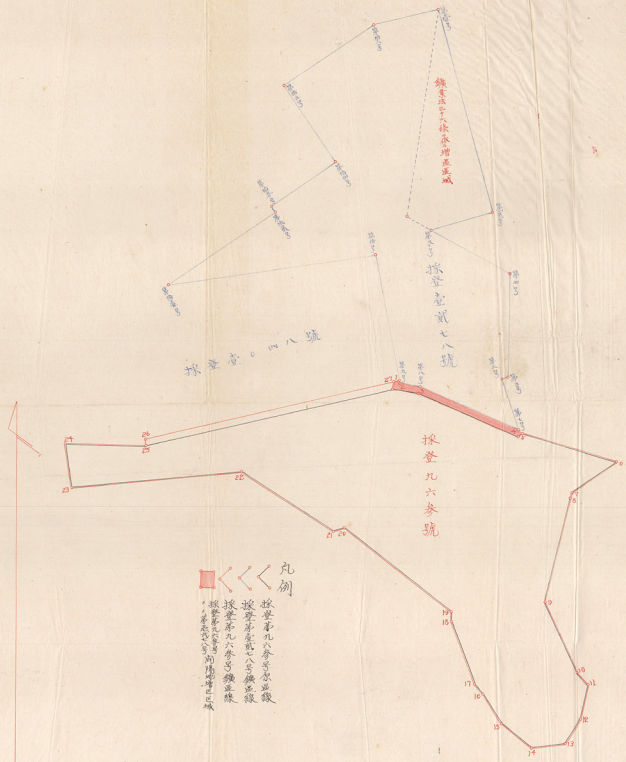
右代表取締役 入交 大蔵

福岡縣嘉穂郡大隈町大字牛隈老七五〇番地

右代理人 明石友助

福岡石炭局長占部保磨殿





凡例

■ 採登九六參號
<< 採登九六參號之全線
<< 採登九六參號之附屬線
 採登九六參號之附屬線已缺

採登九六參號

採登九六參號七八號

採登九六參號七八號

福岡縣保福寺登錄部零貳七八號

福岡縣嘉穂郡大隈町、山田町、福船町地内

右茨洋鐵鐵道出願 貳拾萬七千壹百九拾七坪

一、敷 區 嘉穂郡福船町大字才田

面積 萬壹千坪

差 引 價 額 拾九萬七千壹百九拾七坪

右敷區出願の目的は鐵道法第三十六條（土間八尺層、海軍八尺層）に依り許可したる區域に於ては其の敷地については原則として鐵道法第三十六條の増築出願（海軍八尺上層及び本層）出來ざる為敷方なく次の増築出願手續上の同意にて敷地するものであります。

故に本出願は敷鐵區域の權利を放棄消滅する意味の出願では全然なく増築の如く出願手續上の同意と言ふ形の下に其處を得ず一種形式上の敷鐵出願をするものであつて鐵道購買上はこの敷鐵區域の權利（土間八尺層、海軍八尺層）は存続するものであり、次の増築出願と共に復元し明瞭になるものであります。

従つて手續上敷鐵の許可、登録所次第再び本敷鐵區域を侵害したる鐵道法第三十六條（海軍八尺上層及び本層）の敷鐵出願をします。

その出願の時に於てこの敷鐵區域の權利（土間八尺層、海軍八尺層）は前巻の如く當然復元するものと規定の上この敷鐵區域（土間八尺層、海軍八尺層）は鐵道法第三十六條の承諾書なしに敷鐵前の通り臨時可經下設回收許ひの発給願望します。

右本敷鐵出願の玉面を右へ上中に及びます

昭和廿三年六月八日

東京部中央鐵道町丁日吉支署地八

鐵道部省 共同石炭鐵業株式會社

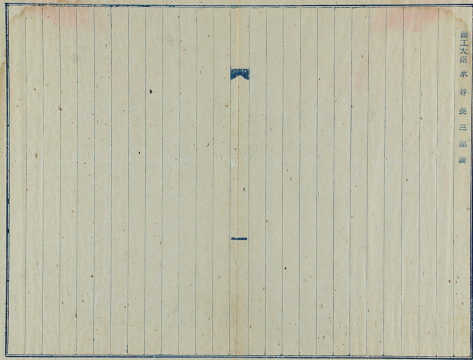
右代表取締役 入 交 太 殿

福岡縣嘉穂郡大隈町大字牛渡一七五〇番地

右代理人 關 石 友 助



蘭工大信 水谷長三郎藏



委 任 狀

福岡縣志摩郡大津町大字中段一七〇番地

明 石 友 助

右ノ者ヲ以テ損害ノ代理ト定メ左ノ債權ノ行爲ヲ委任ス

一福岡縣志摩郡志摩町愛宕七八番

福岡縣志摩郡大津町、山田町、朝陽町地内

石炭採掘區區債權 貳拾萬七千壹日九拾七坪

取 扱 區 志摩郡朝陽町大字平、才田

面積 壹萬壹千坪

業 引 面積 拾九萬六千壹日九拾七坪

石炭採掘區債權ヲ以テ許可決定通知書受領ニ際シ迄並許可決定受領後

ハ登録後ヲ納付シ能限許證ヲ受領ニ至ル迄ノ一切ノ行爲

石代傳委任ノ意思ヲ表示ス

昭和廿三年六月廿八日

東京府中央區海町壹丁目拾壹番地八

廣業協會 共同石炭採掘株式會社

石代表取締役 入 交 太

藏

登錄稅納付書

昭和廿三年六月廿八日出願

福岡縣福岡市登錄酒家第七八號

福岡縣高橋郡別所町、大隈町、山田町地内

石長保運酒販賣區區

登錄税金 十六百圓也

右登錄相成庶許可決定通知書第二圖面相成登錄稅納付書也

昭和廿三年七月三日

東京府中央區神町三丁目拾壹番地八

國權協會 共同石灰工業株式會社

石代取締役 人 交 太 殿

福岡縣高橋郡大隈町大字牛成一七〇番地

石代主人 明 石 友

福岡石灰局長 占 部 以 殿 啟

助





(日吉地)

昭和三年第九八號

昭和三年六月二十日付
福岡縣 石炭局 長官 占部 保彦
出願人 共 同 石 炭 採 掘 業 者 協 会 社

右出願は別紙圖面の區域にて許可するやう決定したから
業法施行細則第三十六條第一項に依り此の旨通知する

昭和三年七月二十日發行

福岡石炭局長 占部 保彦



昭和三年一月一日付
福岡 採掘業者共々八號
昭和三年七月二十日發行

區式番

右登録済



一、この通知は、石炭採掘業法第三十六條第一項に依り、右の如く決定したることを通知するものである。
二、右の如く決定したる区域は、別紙圖面に示す通りである。
三、右の如く決定したる区域は、石炭採掘業法第三十六條第一項に依り、許可するやう決定したることを通知するものである。
四、右の如く決定したる区域は、石炭採掘業法第三十六條第一項に依り、許可するやう決定したることを通知するものである。



山形新聞第五八五號

昭和廿三年六月七日

三井礦山株式會社山形礦務所

新巻 尾 上 區 館

共同石炭礦業株式會社

日吉礦務所

所長 宇佐 見 敏 一 殿

御地層風求新書の贈について
 かねて懇話中の貴所編成より御所編成への御地層風の件について別紙の通り御社共重
 に存員管理人の承諾書をお送り致しますが御立取の上可成お取り計ひ下さい
 尚て石目御地層風編成に御所編成並に地層系編成御送り下さいますやうお願い致し
 ます

共同石炭礦業株式會社山形

三井礦山株式會社山形礦務所
新巻 尾 上 區 館



承 留 符

共利石炭礦業株式會社所有福岡縣深瀬浦發賣場第七八號礦區より三井礦山株式會社所有福岡縣深瀬浦發賣場發賣場礦區の一部別段圖示の區域面積五九三〇〇坪内に賦存する炭層中層並八尺上層及び本層に對し礦業法第三十六條の規定に基く深瀬浦區の田賦をなし二礦區區を竣究する事を承諾しまた昭和貳拾貳年五月貳拾八日

東京部中央區日本橋區町貳丁目發賣場

三井礦山株式會社

社長 山 川 三 良 一

共利石炭礦業株式會社
取締役社長 人 受 太 經 殿

石の深瀬浦區出願を承諾します
昭和貳拾貳年五月貳拾日

三井礦山株式會社

特別代理人 佐藤喜一郎

代理人 岡 本

特別代理人 林 實 村

代理人 清 水

特別代理人 石 田

特別代理人 山 本

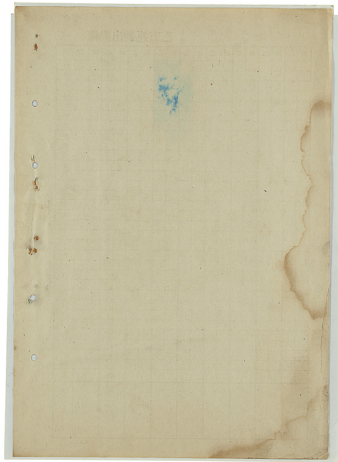
賣次郎

直 作

健 作

勇 助







吉田 敬

三井 坂 臣

一 金

一万二千 增 臣 平 續 出 控

九月二十日 井 坂 臣
一印 臣 坂 持 彦 人

福 永 書



50

領業法第拾六條ニ依ル石炭採掘區増區圖

福岡縣探掘權登錄第壹貳七八號

福岡縣喜穂郡大隈町、山田町、朝延町地内石炭採掘區拾七萬五千百九拾七坪

増區 福岡縣喜穂郡朝延町地内

面積 壹萬壹千坪

合計 拾八萬六千壹百九拾七坪

右礦區ヨリ福岡縣探掘權登錄第壹壹壹號石炭採掘區へ譲渡シ度

ニ付増區許可相成リ度別紙圖面領據圖、領據説明書並隣接領業者ノ

承諾書及抵當權者承諾書相添此設相願候也

昭和拾八年九月廿日

福岡縣若松市本町貳丁目貳〇番地ノ登

探掘權步出願人 共同石炭領業株式會社

代表取締役 人 交 太 廠

施工大區 渠、借、介、股



鐵筆法領事官大佐ニ依ル石炭探掘區域領床説明書

一、鐵岡縣探掘權發給第壹貳七八號

鐵岡縣喜連郡大隈町、山田町、宿務町地内石炭探掘區域七萬五千壹百九拾七坪

増 區 鐵岡縣喜連郡宿務町地内

面積 壹萬壹千坪

合計 拾八萬六千壹百九拾七坪

右増區出露地内ノ地質ハ第三紀層ニシテ之レニ賦附セル領床ハ御紙領床顯ニ示スガ如ク原區探掘權發給七八號領區内ニ増區目的タルドマ八尺層、海軍八尺層何レモ走向百四拾度傾斜拾八度ニ存在シ之レ毎増區目的炭層ハ増區々城探掘權發給壹號領區内ニ向ツテ連續存在セル事ハ從來ノ豫測ニヨリ明カナルヲ以テ原區ヨリ増區目的炭層ヲ増區々城内ニ探掘スルトキハ探掘容易ニシテ事實上領利ヲ損スル事ナク諸般至

便ナリ

依テ増區ヲ出願スル次第ニ依也

昭和拾八年九月九日

鐵岡縣若松市本町貳丁目貳〇六番地ノ發

探掘權者出願人 共同石炭探掘株式會社

代表取締役 入 交 太 廠



承 諾 書



貴社名義ノ關西縣高槻郡大隈町山田町瀬崎町地内關西縣探掘權
登錄第壹貳七八號石炭領區ヨリ弊社名義關西縣高槻郡瀬崎町山
田町庄内村全額田川郡播磨金村地内關西縣探掘權登錄第壹壹壹
壹號石炭領區内ノ別紙圖面開示區域此面積壹萬壹千坪ノ内ニ於
テドマ八尺層、海軍八尺層ノ二炭層ニ付キ鑛業法第參拾六條ニ
依リ掘進スル爲増區出願ヲ爲スコトヲ承諾致候也

昭和拾八年九月廿日

東京都日本橋區室町貳丁目壹番地壹

關西縣探掘第壹壹壹壹號

鑛業權者 三井鑛山株式會社

取締役會長 川島三郎

關西縣若松市本町貳丁目貳〇六番地

關西縣探掘第壹貳七八號

鑛業權者 共同石炭鑛業株式會社 御 中

承 諾 書

一、鎮區所在地 群馬縣高橋郡船橋町、山田町、庄内村地内

企 業 藤田川郡積位金村

一、建設番號 關岡縣採掘權發給第壹陸壹陸號

一、鎮業權者 東京都日本橋區室町貳丁目壹番地壹

三井礦山株式會社

一、財團抵當權者 東京都船町區丸の内壹丁目壹番地ノ壹

株式會社帝國銀行

東京都日本橋區町貳丁目壹番地壹

三井信託株式會社

右鎮區ニ付鎮業權者タル三井礦山株式會社ニ於テ共同石炭鎮業株式會

社ニ對シ左記ノ通り領業法務部發給六條第一項ニヨル掘進增區出願ノ承

諾ヲ爲スコトニ付テハ其關係之依テ承諾書如件

記

一、面積 壹萬壹千坪（別紙圖示區域）

一、炭層名 Fマ八尺層海軍八尺層（別紙炭柱圖所載）

昭和拾八年九月廿九日

東京都船町區丸の内壹丁目壹番地ノ壹

財團抵當權者 株式會社帝國銀行

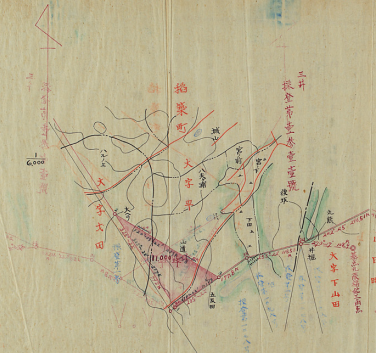
東京都小石川區茗荷谷町六拾六番地

右代表取締役 明 石 照 男

東京都日本橋區室町貳丁目壹番地壹

財團抵當權者 三井信託株式會社

代表取締役 島 田 盛 雄



- 凡例
- 田 山 山 河 道 小 大 町 湖 隣 範
 - 林 川 路 字 字 村 增 区 邑
 - 界 界 界 城 界 界 界





登記事項中登記ナキコトノ證明申請

一、登記 第六貳〇〇號

一、商號 三井信託株式會社

一、本店 東京都日本橋區空町貳丁目壹番地壹

一、證明受タヘキ事項

取締役カ共同シテ會社ヲ代表シ又ハ取締役カ支配人ト
共同シテ會社ヲ代表スルコトノ規定ノ登記ナキコトノ

證明

右御證明相成度候也

一、手数料 參拾錢

昭和 年 月 日

東京都日本橋區空町貳丁目壹番地壹

日 吉 鐵 業 所

三井信託株式會社內

申請人 藤 島 廣

東京區裁判所日本橋出張所 御 中

右 證 明 ス

昭和拾八年七月廿參日

東京區裁判所日本橋出張所

判 事 野 田 虎 七

登記簿抄本

登記第六〇〇號

一 商號 三井信託株式會社

一本店 東京都日本橋區 町貳丁目壹番地壹

一 取締役ノ住所氏名

東京都世田谷區成城町百五拾貳番地

島田 盛雄

一 會社ヲ代表スヘキ取締役

島田 盛雄

此抄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ
認置ス

昭和拾八年七月廿七日

日本銀行

東京區裁判所日本橋出張所

列事 野田 虎七

株式会社登記事項中登記ナキコトノ證明申請

登記簿番號

一商號 株式会社帝國銀行

一本店 東京都麹町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹

右會社登記事項中會社共同代表ニ關スル規定ノ登記ナキコト

一手數料 金拾拾錢

右證明相成座此段及申請候也

昭和拾八年七月卅日

東京都麹町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹

株式会社帝國銀行

證券部 青 山 進

日吉續業所

東京區裁判所

日本橋出張所 御 中

右證明ス

昭和拾八年七月拾拾日

東京區裁判所日本橋出張所

列事 野 田 虎 七

登記簿抄本

登記簿

一商號 株式會社帝國銀行

一本店 東京都麹町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹

一成立ノ年月日 昭和拾八年四月廿日

一預借權登記事項

東京市麹町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹、株式會社第一銀行
及東京市日本橋區[○]町貳丁目壹番地壹、株式會社三井銀行
トヲ合併シテ東京市麹町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹、株式
會社帝國銀行ヲ設立シタリ

一取締役ノ氏名住所

東京都小石川區曙町六拾六番地 明石 照男

日吉鐵業所

東京都麻布區洋町百七拾六番地 万代 照四郎

一會社ヲ代表スヘキ取締役

明石 照男

万代 照四郎

以下 餘白

貳字挿入

此抄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナ^レズ認證ス
昭和拾八年八月九日

東京區裁判所日本橋出張所

列事 野田 虎 七

圖畫通考

卷之三



共

共同石炭
株式會社

日吉炭礦

電話(天際局)二一番

福岡縣嘉穗郡大隈町牛隈

日誌
昭和十六年九月二十五日



福嶺一六年第二六五號

昭和十六年九月二十二日出願

福岡縣嘉穂郡大隈町外一町地内

福岡縣探掘権発給第一二七八號石炭探掘地増設願

出願人 共同石炭探掘株式会社

右出願ハ左記部分ヲ除安スルトキハ該地ナキニ付之ヲ許可セズ

昭和十八年九月二十五日

福岡縣山監警局長 白 井 義 三

記

一公益ヲ害スルモノト認ムル部分

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100



登記簿抄本

登記簿 壹 號

一、領業財團ノ表示

一、領業財團ノ表示 中編四縣採掘權登記第壹號礦業權ノ表示

一、鐵區ノ位置 編四縣高根郡朝梁町、山田町、庄内村、編四縣田川郡權佐登村

一、礦物ノ名稱 石 炭

一、鐵區ノ面積 參百八拾壹萬八千貳百八拾坪

一、領業權ノ登録書號 編四縣採掘權登記第壹號壹壹號

一、領業事務所 編四縣高根郡朝梁町大字陽生五拾五番地

一、所有權者ノ住所、氏名

東京都日本橋區墨町貳丁目壹番地壹

三 井 礦 山 株 式 會 社

一、抵當權者ノ住所、氏名

東京都墨町區丸ノ内壹丁目壹番地ノ壹

共同抵當權者 株式會社 三 井 礦 山 株 式 會 社

東京都日本橋區墨町貳丁目壹番地壹

共同抵當權者 三 井 信 託 株 式 會 社

此抄本ハ登記簿ニ依リテ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認識ス

昭和拾八年拾月拾號日

柳川區裁判所大木田出張所

裁判所書記 行 徳 施



石炭總會 田部
 昭和八年五月十九日
 北九州市務局
 石炭總會 田部
 昭和八年五月十九日
 北九州市務局

石炭總會 田部

今般別記領區一部譲渡及譲受貸度候間御承諾被成下度石炭總會
 規程第十二條ニ依リ關係書類并添此段申請仕候

昭和拾八年拾壹月 日

東京都日本橋區芝町區丁目壹番地壹

譲渡人 三井礦山株式會社

取締役會長 川 島 三 郎

顧問 藤原振裕 東京市大字鴨坐五番五番地

右代理人 田 中 敏

顧問 藤原振裕 東京市本町區丁目貳〇六番地ノ一

譲受人 共同石炭株式會社

取締役社長 入 交 太 藏

共同石炭株式會社 日吉炭礦

石炭總會

會長 松本健太郎 殿



記

一、礦業人住所氏名又ハ商號

東京都日本橋區堂町貳丁目壹番地壹

三井礦山株式會社

二、礦業人住所氏名又ハ商號

靜岡縣若松市本町貳丁目貳〇六番地ノ壹

共同石灰煉製株式會社

三、礦區番號

靜岡縣深根郡登津嶺町壹番壹號

四、礦區所在地

靜岡縣高橋郡堀野町地内

五、礦區面積

共同石灰株式會社日吉炭礦

壹萬壹千坪

六、炭種名

有煙炭

七、領山名

鎌漣領山 三井山野炭礦

鎌受領山 共同日吉炭礦

八、檢定炭量

拾貳萬貳千七百六拾噸

九、可採炭量

八萬四千七百五拾噸

一〇、現在出炭量

三井山野炭礦 年產(昭和十七年度) 九六、八三五噸

共同日吉炭礦 年産(昭和十七年度)

七六〇〇圓

一、二 鑛業權ノ對價

金八萬五千圓

一、三 評 價 格

金八萬五千圓

算出ノ基礎

〔買収炭量約八萬五千圓ニ對シ賣場當リ賣買ノ額

此金 八萬五千圓也

〔其他物件ナシ

一、四 取得處分ノ事由

共同日吉炭礦所第二礦本洞鑛道ハ本作鑛道區域ニ行キ
當リトナリ版レムニ付該鑛道ヲ延長セバ附屬諸設備ヲ其ノ

共同日吉炭礦株式會社日吉炭礦

鑛洞田シテ容易ニ増産ノ目的ヲ達成シ得ベク且又右區域ニ
於ケル片等鑛道ノ測進ニヨリ日敏動員鑛區(陸登嶺、壹號鑛

區)ノ採掘ヲ容易ナラシム

一、四 事業計畫ノ概略(日吉)

〔主要事業設備ノ大要

捲揚機 二〇〇馬力電氣捲 壹基(既設)

持水用ポンプ ツボ下

一〇〇立方 壹基
七五立方 壹基
五〇立方 壹基

通氣設備 壹萬立方吸風機 壹基(既設)

〔事業開始豫定時期 昭和拾八年拾月

〔豫定出炭量 壹ヶ月 壹千圓

四 所要勞力量

勞務者 一二〇人 將來モ現在ト同ジ

職員 一〇人 同 右

國費 金 萬 金八萬五千圓也

勞力及資金調達方法

勞力ハ現在ノ者ヲ以テ履行ス

資金ハ自己資金ニ依ル

出事業收支豫算

(四) 收入ノ部

日吉塊 大〇〇〇圓 二六六〇〇 日吉塊 一五九六〇 計 六六五〇〇圓

日吉塊 中吉塊 二六〇〇〇圓 一六七〇〇 日吉塊 大〇〇〇圓 一五九六〇 計 六六五〇〇圓

日吉塊 日吉塊 一八〇〇〇圓 一九二〇〇 日吉塊 三四五六〇 計 六六五〇〇圓

預當 二二一八〇 出炭月産 三〇〇〇〇圓

(四) 支出ノ部

礦内費一切 一一九五〇 機械費 一三七一 事務費 三〇一九 共同石炭株式會社日吉炭礦

運送費 一一八〇 發給費 三六六 特別費 一五八〇

領區代 二〇〇〇 本社費 一〇〇〇

計 金二〇圓四六七

差引利益 金一圓七十一錢三厘

一五添 附 書類

一、炭層柱狀圖

二、坑内實測圖

三、分折表 (寫)

四、契約書 (寫)

五、備 區 圖

委 任 状

拙著儀 田中 敬 ニ左ノ補綴ヲ委任ス

一 關西縣採掘權委託費徵收委員會採掘區一部測量時區承諾ニ關シ石炭採掘會採掘規則第十二條ニ依リ石炭採掘會ニ對シ若干ノ採掘權ヲ以テ
ス一切ノ件 以 上

右委任狀仍而如件

昭和拾八年拾壹月 日



東京市日本橋區室町貳丁目壹番地
三井礦山株式會社
東京市四谷區大塚町拾八番地五
會社ヲ代表スベキ取締役 川 島 三 郎

契約書

三井礦山株式會社ヲ甲トシ共同石炭礦業株式會社ヲ乙トシ乙ガ
 甲所有ノ石炭領區ノ一部ニ租借スルニ付契約スルコト次ノ如シ
 第壹條 甲ハ乙ガ顧問縣探掘權登錄第壹號領區七八號領區ヨリ甲所
 有ニ係ル顧問縣探掘權登錄第壹號領區ノ中別紙圖示ノ
 區域（此面積壹壹〇〇〇坪ナルモ所轄官廳ノ修正ニヨリ異動
 フ生ジタル場合ハ其面積トス）内ニ賦存スル炭層中下マ八尺
 層及海軍八尺層ヲ探掘スル事ヲ承諾スルモノトス

甲ハ乙ガ前項所定ノ區域並ニ同縣地中別紙圖示ノ區域ニ付領
 權法第參拾六條ニヨル租借増區出願ヲ爲シ重増領區ヲ設定ス
 ルコトヲ承諾スルモノトス

乙ハ前項重増領區ノ探掘ヲ了シタルトキ又ハ契約ノ解除アリ
 タルトキハ租借ナク該租借増區々城ヲ滅區スルモノトス

第貳條 前條探掘代金ハ金八萬五千圓也トシ本契約締結ト全時
 ニ乙ヨリ甲ニ交付フモノトス

第參條 乙ハ本件探掘ニ關シ該地籍案ヲ甲ニ提示シ其ノ承認
 ヲ求ムルモノトス 之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第四條 本件區域内ノ探掘ニ當リテハ甲乙共ニ領權ノ發生ヲ可
 及的少カラシムル様最善ノ注意ヲ拂ヒ若シ損害ヲ生ジタル場
 合ニ於テハ甲及乙ハ各自責任ヲ以テ賠償シ兩者ノ原因ガ被合
 スル場合ハ其ノ原因ノ割合ニ應ジ負擔シ其ノ割合不明ナルト
 キ又ハ原因明カナラザル場合ハ兩者折半負擔トシ總カニ賠償
 ヲ了シ相互ニ連累ヲ懸ケザルモノトス

乙ハ探掘終了後或ハ契約解除後ト雖モ領權發生セル場合ハ前

項ニ準ジ賠償ヲナスモノトス

第五條 乙ハ本件探掘ニ依リ甲ノ現在及將來ノ損喪ニ何等ノ支障損害ヲ及ササル様態ニ上致セシムルニシテ、

第六條 甲カ乙ノ本區域内履行状況ノ調査又ハ参考資料ノ交付ヲ希望スル時ハ乙ハ直チニ應答スルモノトス

第七條 乙ハ本件ニ關スル權利義務ヲ甲ノ承諾ヲクシテ第三者ニ譲渡スルコトヲ得サルモノトス

第八條 第壹條ノ增區域區ノ手續並ニ費用ハ乙ノ負擔トス

第九條 乙カ本契約ノ修環ニ違反シタル時ハ甲ハ何時ニテモ本契約ヲ解除スル事ヲ得ルモノトシ且ツ損害アリタル時ハ乙ニ於テ之カ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第十條 本契約ハ關係官廳及石炭統制會ノ許認可ヲ得ルコト能ハサルトキハ無効トシ甲ハ直チニ第貳條所定ノ金額ヲ乙ニ返還スルモノトス

右契約ノ圖トシテ本書貳通ヲ作製シ各自空通ヲ保有ス

昭和八年 月 日

東京市日本橋區室町貳丁目壹番地壹

甲 三井 礦山 株式 會社

取締役會長 川 島 三 郎

關西縣若松市本町貳丁目貳〇六番地ノ壹

乙 共同石炭 鑛業 株式 會社

取締役社長 入 交 太 郎



日 吉 生 船	日 吉 沈 中 雄	日 吉 雄	分 折 表 寫	灰	カ ロ リ !
				一 三 %	七 二 〇 〇
				一 五 %	六 六 〇 〇
二 三 %	六 〇 〇 〇				



漆
附
錄
銅 鐵 炭
內 層 柱
以 實 柱
圖 圖 狀
圖 圖 圖
— — —
通 通 通

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52

層累計	厚度	断面	純炭層	炭層厚	炭層石
				1.99	竹藪八尺上層
	0.92		0.68	0.68	
	0.18		0.18	0.18	
	0.16		0.16	0.16	
	0.88		0.88	1.54	
	0.08		0.08	1.20	
	0.40		0.40	1.18	899
899	1.00		0.78		
899	0.14		0.14	0.87	818
18.64	291.62	276.08	0.27	0.69	杉五尺層
			0.18	0.37	
			0.17	1.87	
296.64	354.02	373.50		1.20	870
			0.88	1.27	
			0.25	0.46	
			0.62	0.75	
			0.18	0.30	
			1.40	1.84	
361.57	428.97	494.40		1.10	718
			0.18	0.79	楠五尺層
			0.30	0.31	
			0.80	0.79	
			0.36	1.10	
428.97	478.70	528.20	0.30	0.42	698
	572.71	622.20		0.70	
			0.30	0.20	
			0.21	0.20	
572.71	672.71	722.20		0.10	海軍八尺層
			0.30	0.32	
			0.80	0.30	
			0.80	0.30	
672.71	772.71	822.20		1.18	598
	826.64	876.10		0.10	小石三尺層
			0.80	0.20	
			1.00	1.40	
			0.20	0.80	
			1.00	0.80	
826.64	876.10	926.00		0.87	帶無層
			0.50	2.45	502
			0.50		
876.10	926.00	976.00		1.68	五尺層
			1.80	1.60	
			0.87	1.60	502
926.00	1491.97			1.60	502

炭層柱狀圖

縮尺六十分之一

採登第一二七八字鑛區之採登
一三一號鑛區之鑛業法第
三十六條之條之掘進增進尺九
炭層

- 凡例
- 溼青炭
 - ▨ 煇石
 - 無煙炭
 - ▨ 炭質頁岩
 - ▨ 砂岩
 - ▨ 頁岩
 - ▨ 砂質頁岩
 - 現在採炭層

福岡縣嘉穂郡大隈町牛隈

共

共同石炭
株式會社

日吉炭礦

電話(大隈局)一一番

共

礦區番號	礦區所在處	礦區面積	礦區地質	礦區地質	礦區地質
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社
	三井山野炭礦	壹萬壹千坪	Fマ八尺層及海軍八尺層	東原郡日本嶺區室町貳丁目壹番地壹	三井礦山株式會社

共同石炭礦業株式會社
 取締役社長 入 太 藏
 以上

昭和十一年
 五月三十一日
 東京市
 共同石炭礦業株式會社
 代表取締役社長 入 太 藏

共同石炭礦業株式會社
 代表取締役社長 入 太 藏



昭和十九年九月二十日

福 第一八号 第一三〇号

福岡

福岡縣 福岡市 福岡区

福岡縣 福岡市 福岡区 福岡市 福岡区

右出願ノ別紙圖面ノ區域ニ於テ許可スヘキモノト決定候條續業法施

行細則第三十六條第一項ニ依リ此ノ旨通知ス

昭和十九年四月五日

福岡縣 福岡市 福岡区

福岡縣 福岡市 福岡区

吉田 茂



右登録簿

福岡縣 福岡市 福岡区

吉田 茂



昭和十九年九月二十日

福岡縣 福岡市 福岡区

福岡縣 福岡市 福岡区

福岡縣 福岡市 福岡区

吉田 茂



福岡縣 福岡市 福岡区



號 番
 車 貨
 1 日
 2 日
 3 日
 4 日
 5 日
 6 日
 7 日
 8 日
 9 日
 10 日
 11 日
 12 日
 13 日
 14 日
 15 日
 款 万
 銀 金 兩 六
 此
 名

昭和六年十月完成

久恒銀且三條國保

銀山局
 統制會
 重頼

號 冊

年 貨

1 冊

2 冊

3 冊

4 冊

5 冊

6 冊

7 冊

8 冊

9 冊

10 冊

11 冊

12 冊

13 冊

14 冊

15 冊

號 冊

號 冊

氏

名

銘山監督局提出

久恒銘在三六條園係

191

郵便物受領書

引受印號	重量	郵便料	受取人の氏名	摘要
277	→	54	吉田茂	

(送出人の姓および氏名)
 若松共同石炭株式会社

1917年 7月 27日 郵便局 牛隈

細則第三十八條第十号
 五十四号付/健之丞付之
 病回復山聖存局長 吉田茂
 提出人 高倉 在記
 高倉 在記 財團 爲之付
 高倉 在記 爲之付

郵便局で受領した郵便物

番号	氏名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	

關西縣操江權登錄第壹〇四八號

一、銀區ノ位置

關西縣高槻郡大原町、相船町

一、銀物ノ名稱

石 炭

一、銀區ノ面積

拾貳萬六千貳拾九坪

一、銀業權登錄番號

關西縣操江權登錄第九參五號

一、銀業事務所

關西縣高槻郡大原町牛原字野添貳千五百拾參番地ノ貳

一、所有者ノ住所氏名

高槻郡大原町牛原貳千五百拾參番地ノ貳 久保銀業株式會社

一、擔當者暨當權者ノ氏名及做務額

株式會社日本興業銀行 金壹百萬圓也

此抄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り技ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認
證ス

昭和拾九年七月拾五日

關東區裁判所大原出張所

登録所書記

木 本 次

郎



福岡山梨管局長 片 :

吉 田 茂 蔵

續漢法第壹拾六條ニ依ル石炭採掘權區可成區域說明書

福岡縣探掘權發給第壹貳七八號

福岡縣嘉穂郡大渡町、山田町、朝栗町境内石炭採掘權區拾八萬六千壹百九拾七坪

増 區 福岡縣嘉穂郡大渡町、山田町境内

減 區 貳萬壹千坪

合 計 貳拾萬七千壹百九拾七坪

右増區出願地内ノ地質ハ第三紀層ニシテ之レニ賦給セル鑛床ハ頁岩鑛床ニシテスガ如ク原鑛床並部壹貳七八號鑛區内ニ増區目的タル鑛床五尺層、ドマ八尺層、海軍八尺層何レモ走向百四十度、傾斜十八度ニ存在シ之レ等増區々賦目的炭層ハ増區々賦採掘權壹〇四八號鑛區内ニ連續存在セル事ハ從來ノ探掘ニヨリ明カナルヲ以テ鑛床土質利ヲ損スル事ナク副産至便ナリ

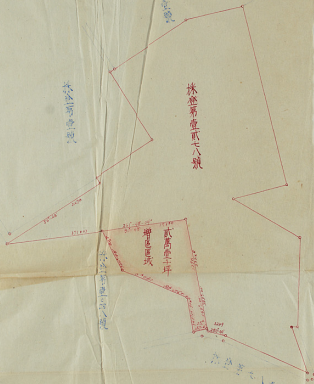




大
油
田
地
區

林
地
第
壹
貳
八
號

林
地
第
壹
貳
八
號



林
地
第
壹
貳
八
號

貳
萬
壹
千
肆
百
肆
拾
肆
元

林
地
第
壹
貳
八
號

縮
尺
六
十
分
二

Vertical text on the right edge of the paper, possibly a title or description, written in a traditional Chinese style.



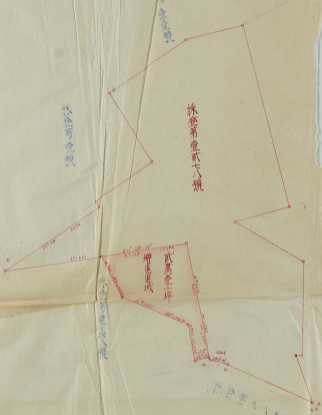


林位第壹號

林位第壹號

林位第壹號七八號

林位第壹號七八號

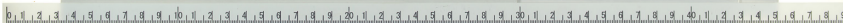


瓜馬堂土坪
海區區以

縮尺六十分一

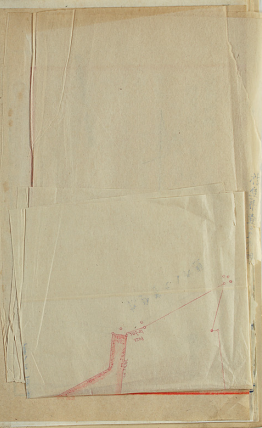
林位第七八號

Handwritten text in vertical columns, likely a title or description of the map, written in black ink on a light background.



電力関係

東京電力
一巻



福岡縣嘉穂郡大隈町牛隈

共

共同石炭
株式會社

日吉炭礦

電話(大隈局) 一一番

總算 第八九号

昭和十九年八月五日

所長 廣田 啓

日吉炭礦所

御中

共

共同石炭株式會社

書類拜送御案内

拜啓者、御隆昌之段奉賀候。隨着左記書類、茲許同封拜送
申上候間、御查收被下度御案内、迄此段得貴意候。謹言
遊而御落掌ノ上ハ午御手數御一報願上候。記

一石炭採掘區、増區願ニ對シ、統制會長ノ承認書添付ノ件(九州地方鑛山局通牒ノ字)

日吉炭礦所 共同石炭株式會社

和



九州地方領山局 御中
 代理取締役 入交 太 藏



九條一九年第七一號昭和十九年八月十九日附テ以テ御承進ノ石
 炭採掘権區增置區ニ關シ石炭統制會長ノ承認書及其裏八月二十
 九日迄ニ提出仕可善ノ處右ハ日下統制會長宛承認申請中ニテ承
 認書到着次第早速提出仕可便候何卒特別ノ御設備ヲ以テ御整據
 願此致謝御及候也

昭和十九年八月廿三日
 若松市本町二丁目二〇六番地ノ一

共同石炭採業株式會社
 代理取締役 入交 太 藏

九州地方領山局 御中

所長 國 善 三 郎
 受付 昭和十九年八月廿三日

Handwritten notes in Japanese, including a red rectangular stamp. The text is partially obscured and difficult to read in full, but appears to be a receipt or acknowledgment of the document's receipt.

九州地方領山局 御中
 代理取締役 入交 太 藏



特殊郵便物受領書

引受番號	重量	郵便料	受取人の氏名	摘要
162	2	2	九州地方裁判所	
(差出人の住所及氏名)				
若松共同石灰株式会社				

19年8月26日引受 牛隈 郵便局

十九年八月十九日附テ以テ御承領ノ石
 石炭鉄制會長ノ承認書及其寫八月二十
 日右ノ日下統制會長宛承認申請中ニテ承
 領可候様例卒特異ノ御承認ヲ以テ御承領
 被下
 福岡市町二丁目二〇番地ノ一
 共同石灰工業株式会社
 代表取締役 入交 太 藏

先付
 19年8月26日
 牛隈郵便局

与生 菊池 謙子 様
 前書十月廿一日付の
 御返書に於て、御承領の石炭鉄制會長ノ承認書及其寫
 及び、御承認申請中ニテ承認可候様例卒特異ノ御承認ヲ以テ御承領
 被下
 福岡市町二丁目二〇番地ノ一
 共同石灰工業株式会社
 代表取締役 入交 太 藏

与生 菊池 謙子 様
 印

受持
Bill
50000000

昭和十七年十一月十五日

共同石炭株會社
取締役社長 入文 文 啓

取締役社長 入文 文 啓

免別規程第十一條之依。承認書送附一件。

擇除原者量一御申請相成候。久恒塔生候。打三振進酒二件
承認書到着仁候。付為折同封送附申上候。家御書成相成度候
尚之恒塔業二量。付為送附申上候。家承認書同封送附候

出

18/11/19

共同石炭株會社

昭和十七年十一月十八日

共同石炭株會社
取締役社長 入文 文 啓

免別規程第十一條之依。承認書送附一件。

擇除原者量一御申請相成候。久恒塔生候。打三振進酒二件
承認書到着仁候。付為折同封送附申上候。家御書成相成度候
尚之恒塔業二量。付為送附申上候。家承認書同封送附候

共同石炭株會社



印
寫



一九四四年十月二十五日

昭和十九年十月二十五日

共同石灰鑛業株式會社
取締役社長 入交 太蔵 殿

石炭統制會
會長 松本 健次 郎

印

統制規程第十二條ニ依リ承認ノ件

左記鑛業權移轉ノ件統制規程第十二條ノ規定ニ依リ承認候也

記

一 登 録 番 號

一 鑛 山 ノ 名 稱

一 鑛 區 所 在 地

福岡縣探掘權登錄第一〇四八號

久恆 謙 生 表 請

福岡縣嘉穂郡大隈町、山田町、油蔭町



一九四四年四月二號

昭和十九年十月二十五日

久恒
取締役社長
久恒 友雄

取締役社長
久恒 友雄

記

石 長 松 本 健 次 郎
會長 松 本 健 次 郎



左記領證商標ノ件統制規程第十二條ノ規定ニ依リ承認候也

記

領證商標第一〇四八號

久恒進生共研

福岡縣高橋郡大徳町、山田町、稻佐町

一 登録番號
二 領山ノ名稱
三 領區所在地

商標法

所業備若日社會式務業領表石同共

昭和十九年十月二十五日

共 一 日 大 野 電



一 領 證 商 標

領受人
領證人

共同証及領證商標大會
福岡縣高橋郡水原二丁目二〇六番地一

共同証及領證商標大會

福岡縣高橋郡大徳町大字千道三丁目三番地八二

三二六六一五番八内 二二〇〇〇 号

共同証及領證商標大會
福岡縣高橋郡大徳町大字千道三丁目三番地八二
三二六六一五番八内 二二〇〇〇 号



一、 總受入
 二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 二十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 三十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 四十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 五十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 六十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 七十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 八十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十一、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十二、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十三、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十四、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十五、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十六、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十七、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十八、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 九十九、 共同 五嵐 福樂社友會捐
 一百、 共同 五嵐 福樂社友會捐



九折地...局

寫

九折地一九一九年第七一號

昭和十九年七月三十一日全額

福岡縣...大隈...外三折地及

福岡縣...登錄...一三八...折地...持...權...之...額

出願人 共同 石炭鑛業株式會社

右名額...別紙...圖面...區域...之...於...了...許...可...及...之...之...決定
條件...鑛業...法...施行...細則...第三...十六...條...第一...項...之...依...此...旨

三國記

昭和十九年十二月十日

九州地方鑛山局長 吉田



寫

登録税納付書

昭和十九年七月二十二日出願

一 福岡縣基郡大隈町外二町地内

福岡縣深瀬橋登録第一二七八號石炭採掘礦區區區圖

此礦區權變更登録税金五百圓也

昭和十九年十二月七日 出願人

共同石炭採掘株式會社
代表取締役人 社交太

社交太

所支額 15 12 9

(注意)

一 本圖に於て登録せられたる日ヨリ三日以内ニ登録税ヲ納付セテ場合ハ本額ノ却下セラルシ
但シ本對圖ハ法定期間ニテ延長ノ許サス

二 登録税額納付書ハ本圖知事(官圖ヲ採)ト共ニ送付セラルハ受理セス

三 本圖知事登録後ハ該地生額人又ハ存続生額人ハ其ノ出願地付更ニ採掘若ハ該地出願ヲ爲シ生額地増減若ハ該種名更更ヨリ出願シ又ハ名義更更ノ届出ヲ爲スコトヲ得ス

四 登録税額納付書ハ別紙登録税額納付書ニ注意事項ヲ添付セラルシ

昭和十九年七月二十二日

	號	冊
	年	貨
	1	冊
	2	冊
	3	冊
	4	冊
	5	冊
	6	冊
	7	冊
	8	冊
	9	冊
	10	冊
	11	冊
	12	冊
	13	冊
	14	冊
	15	冊
	數	冊
	計	冊
	元	
	名	



統 部

車 貨

1 日

2 日

3 日

4 日

5 日

6 日

7 日

8 日

9 日

10 日

11 日

12 日

13 日

14 日

15 日

款 万

部 台 金 貨 六

此

名

久恒 銘 日 三 十 六 條 國 係

統 制 會 提 出 控

(一) 委託人住所商號又ハ名稱姓名

福岡縣高橋郡大隈町大字牛腰貳五壹番地ノ貳 久保製業株式會社

(二) 委託人住所商號又ハ名稱姓名

福岡縣若松市本町二丁目貳〇六番地ノ壹 共同石灰鑛業株式會社

(三) 増収スベキ區域

一 壹 鑛番號 福岡縣桂橋區壹番地壹〇四八號

一 鑛山名稱 久飯渡生炭鑛

一 鑛區所在地 福岡縣高橋郡大隈町山田町稻葉町地内

一 鑛區面積 壹拾貳萬九千六百拾五坪ノ内 貳萬壹千坪

一 推定 炭量 海軍八尺層(露天地)四千坪 貳萬四千八百八拾貳(土間八尺層、鑛層五尺層)鑛層煤層ノ為推定セズ)

一 可採 炭量 壹萬貳千四百拾拾噸(推定炭量ノ五〇%算取)

一 炭 種 有煙炭 海軍八尺層(一般炭)

(四) 現在ノ出炭數量

ナシ

取得又ハ處分セントスル鑛業權ノ對價及其算出ノ基礎

一 金 七千圓也(坪當り金壹拾參圓參厘ノ額)

因 事業設備作業用品其ノ他ノ對價

ナシ

取得又ハ處分ヲ必要トスル事由

増収々城ハ日百二圓ノ程度ニアリ露頭部分露採煤跡多ク、

梅雨期ニハ其ノ為日百二圓々内ノ増水甚ダシク因却スルタ

メ今同本區域ニ煤産増収ヲナシ露天地ヲナシテ増産ニ寄與

スルト共ニ之ニヨリ取除キタル土ヲ以テ露採煤跡ヲ隠立シ

テ日吉二領ノ防水工事ヲナシ一石二島ノ效果ヲ致サントス
ルモノナリ

出

一、事業計畫ノ概要

別圖ノ通り

三枚支隊算概要（十九年十月中）

日吉本領 増減★城ノ分	七百〇〇圓	七百〇〇圓	代	價	備考	日吉本領		日吉本領 増減★城ノ分
						出賣數	日買入 格入	
日吉丸	一三〇圓	三〇圓三五	三九四五圓五〇			生粉	一四〇〇	二七圓六五
日吉丸	二〇〇	二九圓四五	五八九〇圓〇〇			洗中塊	二五〇	二六圓三五
日吉丸	二〇〇	二六圓九五	六七三七圓五〇			洗粉	二五〇	二五圓五〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			竹藪塊	一三四〇	四七圓二五
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			チ塊	一五〇	二五圓五〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			日鐵原料	一〇〇	二五圓五〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			日鐵粉	三〇二五	六〇六五圓二五
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			自家用	二四〇	二五圓七二
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			日吉塊	一五〇	四五五圓二五〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			日吉粉	三五〇	八三八二圓五〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			計	七五〇〇	一七二八九圓三〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			炭代外收入	七五〇〇圓	一七二八九圓三〇
日吉丸	一〇〇	二五圓五〇	二五五五圓〇〇			合計	七五〇〇圓	一七二八九圓三〇

		十月分決定出費		七五〇〇圓		也當り		摘要	
		原價計算		額		也當り		摘要	
		二、材料費		二、二五〇〇〇		二、八四〇			
		火		二九〇〇〇		五二〇			
		其他		八七〇〇〇		一七〇			
		計		三、三八二〇〇		五三〇			
		三、勞務費		四、八三〇〇〇		六、四四〇			
		給		五、五一〇〇〇		七、七五			
		其他		一、二〇〇〇〇		四、六七			
		計		六、六一〇〇〇		八、六八二			
		三、諸經費		九、六五〇〇〇		一、二八六			
		減價償却費		二、四四〇〇〇		三、二五三			
		其他		三、四〇五〇〇		四、五三九			
		計		一三、三九八〇〇		一七、七三〇			
		叫控除額		八五五〇〇		一、一四			
		差引前		一三、〇九五〇〇		一七、六〇			
		五、本社費		一〇、六〇〇〇〇		一、四一三			
		六、石灰搬送費		四、六一二五〇		六、一五			
		(總計)		一四、七三〇七、五〇		一、九、六四一			
		損益計算							
		收入金高		拾七萬貳千八百九拾壹圓拾錢		屯當(貳拾參圓〇五錢)			
		支出金高		拾四萬七千參百七圓五拾錢		(拾九圓六拾四錢壹厘)			
		益金高		貳萬五千五百八拾參圓八拾錢		(參圓四拾壹錢)			
添附書類									

〔契〕 約 書

(原本) (高)

〔鑛〕 區 圖

礦内實測圖 炭層柱狀圖

〔石〕 炭 分 析 表

(増城*屋へ日百炭層ノ海軍層ト同一炭層ニ付)
日百炭層ノ分析表ヲ添附ス

轉鑛査抄承 諾 書

(原本) (高)

回 計 畫 圖

(炭量計算表附記ス)



製 約 書

久恒製薬株式会社計ヲ甲トシテ共同石炭製糖株式会社ヲ乙トシ乙
カ甲所有ノ石炭製糖ノ一部ニ越邊地區スルニ付製約スルコト左
ノ如シ

第壹條 甲ハ乙カ郡岡部製糖總發售場製糖七八陸地區ヨリ甲所
有ニ係ル該岡部製糖總發售場製糖〇四八陸地區ノ中其區域示
ノ區域（此區域概算壹千坪）内ニ製糖スル海軍八尺層以上
ノ製糖機ヲ海軍八尺層、ドマ八尺層、編織五尺層ヲ採掘ス
ルコトヲ承諾シ御製糖製糖六條ニヨル製糖場區出願ヲ爲
シ重價額價ヲ決定スルコトヲ承諾スルモノトス

第貳條 前條ノ代金ハ金七千圓トシ本製約書締結ト同時ニ乙ヨリ
甲ニ支拂フモノトス

第參條 前條條ニ依ル官廳ノ手續費ニ費用ハ乙ノ負擔トス

第肆條 本製約ハ關係官廳及石炭統制官ノ許認可ヲ得ルコト能
ハサルトキハ無効トシ甲ハ直チニ該區域所定ノ金額ヲ乙ニ
返還スルモノトス

右製約ノ際トシテ本製約書ヲ作製シ各自壹部ヲ保存ス

昭和九年貳月九日

郡岡部製糖總發售場大發町牛腰五壹陸番地ノ貳

甲 久恒製糖株式会社

代表取締役 久恒直雄

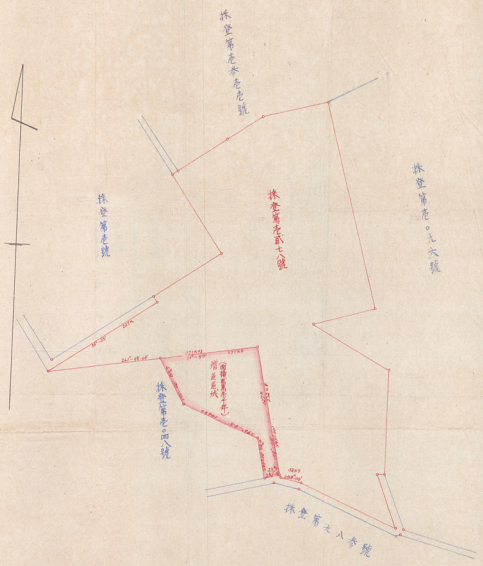
郡岡製糖株式会社丁目〇六番地ノ壹

乙 共同石炭製糖株式会社

代表取締役 入交太吉

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

62



縮尺六十分之一

No.

石炭橋成績通知書

日吉 炭礦 御中

北九州石炭鐵道株式會社

分析 牌號

分析番號	No. 465	No. 601	No. 319	No.	No.	No.
炭 名	日吉煤	年荷	432.5			
水分%	10.97	16.83	24.22			
揮發分%						
固定炭%						
灰分%						
灰 色						
全純質分%						
粘結狀態						
發熱量	7308	6727	5868			
轉炭分						
揮發分%						
比 重						
窒素分%						
灰ノ總指數						
灰ノ揮發點						
分析月日	1942	1943	1946			
立會ノ有無	有	有	有			
立會者氏名	尾井	-	尾井			
採取者氏名	山口	尾井	尾井			
採取月日	1942	1942	1943			
採取場所	西村	西村	西村			
標 號	日吉					
取 價	294	295	225			
試料番號	2740	2887	2618			
備 考						

控

控

承 配 管

昭和十九年二月九日附ヲ以テ共同石炭鑛業株式會社取締役社長
 入交太雄ト當會社取締役社長久保貞雄ト締結シタル福岡縣築地
 權益條第一二七八號石炭鑛區ヨリ福岡縣築地權益條第一〇四八
 號石炭鑛區内ヘ區高壹千坪ノ内ニ於テ海軍八尺層、土間八尺層
 鑛層五尺層ノ長層ニ付十條鑛法第三十六條ニ依リ地產增區ノ契
 約ヲ承認致シ候也

昭和十九年 月 日

福岡縣築地權益條第一〇四八號

鑛業權者 久保鑛業株式會社

鑛業權 山口馬城次

全 東 廣 房 市

承 諾 書

貴社名義ノ福岡縣控地権登記第一二七八號石炭鑛區ヨリ弊社所
有ノ福岡縣控地権登記第一〇四八號石炭鑛區内ノ貳萬壹千坪ノ
内ニ於テ海軍八尺層、土間八尺層、鑛層五尺層ノ炭層ニ付十個
業法第三十六條ニ依リ地権増區出願ヲ爲ス事ヲ承諾致シ候也

昭和拾九年 月 日

福岡縣控地権登記第一〇四八號

御業指考 久恆御業株式会社

監査抄 山口馬城次

全 求 東 廣 房 市

福岡縣控地権登記第一二七八號

御業指考 共同石炭鑛業株式会社 御 中



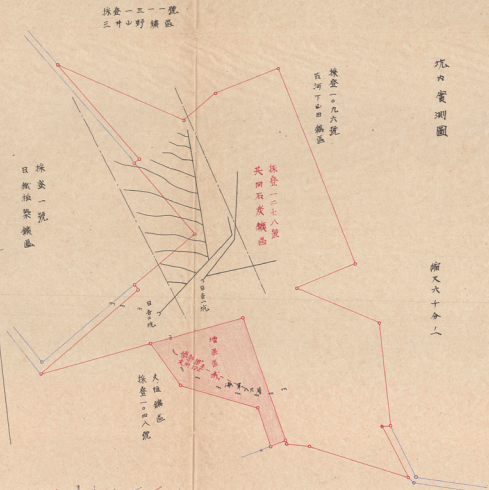
岩層柱狀圖卷
炭層柱狀圖卷
坑內炭層圖卷
鉍正圖卷

二
一
一
一



凡內實測圖

縮尺六十分一



株壹一三一一號
三中山野 橫區

株壹一九六號
五河丁廿日 橫區

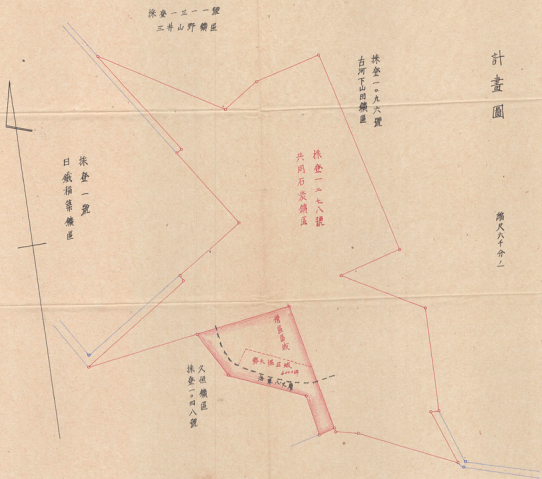
株壹一七八號
天田五度 橫區

株壹一八八號
大塚 橫區

株壹一號
日取 橫區

凡測
 橫區界
 隣區界
 土地邊
 所屬橫
 區
 測量區

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50



炭量計算書

炭層名	可採坪數	炭大	一坪當	含有炭量	當採率	實收炭量	換要
海軍八尺層	4000 坪	4.90 尺	6.22 噸	24880 噸	60%	12440 噸	海軍八尺層 20000 坪換取

九例
 △ 增區區域
 ∷ 區
 < 換區
 < 續區

石灰採掘鑛區圖 縮小五分一

現存

京區 福岡縣 石灰採掘鑛區 第七號

福岡縣 唐津郡 山田町

福岡縣 唐津郡 山田町

大字 山田 民地 山林 原野 田地 通池

面積拾八萬六千壹百九拾七坪

大字 牛原 民地 原野 田 官地 山林

鑛業法第三十六條二款

大字 平 民地 山林 潘池

福岡縣 唐津郡 大隈町 大字 牛原

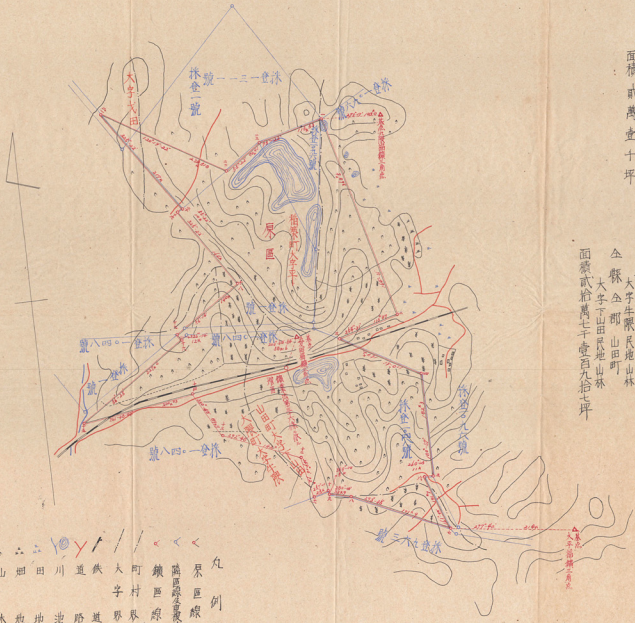
大字 牛原 民地 山林

面積貳萬壹千坪

大字 山田 山田町

大字 山田 民地 山林

福岡縣 白川町 水田 町 自一六六一
鑛業法第三十六條二款
石灰採掘鑛區 第七號



- 凡例
- 尿巨線
 - 鑛區線
 - 鑛區界
 - 大字界
 - 町村界
 - 鐵道
 - 道路
 - 川
 - 池
 - 地
 - 地
 - 田
 - 山
 - 山
 - 山
 - 官民地界

福岡縣嘉穂郡大隈町牛隈



共同石炭
株式會社

日吉礦業所

電話(大隈局)一一番



昭和十九年八月廿一日

北九州石炭統制組合
總務庶務課 安川 様

高橋郡大隈町
日百編集所
明石 友助

承認書送附ノ件

拜啓 益々御清榮幸賀候

復由昨日御話申上候點查得承認書一通及寫三進別紙ノ送付御趣
附申上候條宜敬御願申上候也

石炭統制會式株式會社 廣告
總事務所 大隈町 電話 一四一

昭和二十一年

久恒敬業社の各社
向中

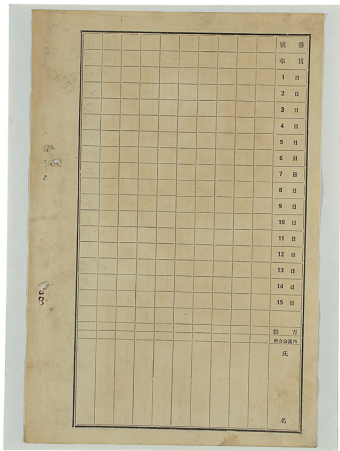
編輯部 京都府 大原町 大字 本館
投函者様
日 吉 鏡 業 一 所
電話 〇三三二一

好む巻の信葉等々
物々々々行な致願申す
取退書は別紙有
控名別紙一通
送付申上之際
御取付下
致之入
大

昭和十九年八月二十日

〇〇





號 器

年 貨

1 日

2 日

3 日

4 日

5 日

6 日

7 日

8 日

9 日

10 日

11 日

12 日

13 日

14 日

15 日

數 方

元 金 漢 西

元

名



